

少年少女わたしの作品

つぎ
ねんくるだるは

宇治市・神明小1年 黒田 彩羽

達

五年 大野 喜子
伏見区・砂川小5年 大野 喜子

作文

笑顔いっぱい

PEEPESポーツデー

伏見区・京都聖母学院小4年

大崎 希

「もうすぐわたしの番だ」。わたしの前の人走り出した。次はわたしの出番。ついに、「いちについて、よーいどん」。わたしは走り出しました。

さっきまで心にあっただきどきがなくなり、わたしは全力で走り出しました。「ゴールの先に英語のホワイト先生がいる」と思ったら、わたしはもうゴールにいました。そうすると、ホワイト先生が「はやすぎるよ!」と言ってくれました。その時わたしは、とってもうれしかったです。

谷川
あざわえみり

東近江市・御園小3年 赤沢 江美梨

快明
活朗

西京区・川岡小6年 松井 楓

そのあと、自分のいた場所に行こうとすると、クラスのみんなが「のぞみ、1位だったよ!」と言ってくれました。

わたしは、笑顔になりました。そのあとも、みんなが「ナイス!」と言ってくれたり、「がんばったね」と、言ってくれてうれしかったです。もう1回走りたくになりました。

私とタイ語と店員さん

大阪府高槻市・松原小2年

橋本 和

私は、6月にタイ語を習い始めました。この前、タイ語スクールに帰りに、タイ料理店に行きました。その店員さんは日本語で話していますが、ときどきタイ語で話しています。

私がタイ語で話したら、嬉しそうに

水五
四年 山田に

高島市・今津東小4年 岸田 虹湖

式記念

西京区・榎原中1年 堀内 莉央

うにしてくれる店員さんもいます。そして、店員さんと話せました。店員さんが言った中で、「コート」(ごめんなさい)と「チャー」(遅い)が聞きとれたので、「マイペンライ」(大丈夫、いいよ)と答えました。

その時「達成感」が流れ出し、「嬉しい」という言葉も輝き、とてもいい気持ちになりました。さらに、同じ店員さんに「アロイマイ?」(おいしい?)と聞かれたので、「アロイマーク」(とてもおいしい)と答えました。

お会計の時、金額とおつりをタイ語で言ってくれました。私は「サワディーカー、コープクンカー」(さようなら、ありがとう)と言って帰りました。とてもいい気持ちでした。もっと話せるようになりたいです。

詩

秋の始まり

伏見区・桃山小6年

生田 真優

緑から赤へ
ひらひらとまいながら
落葉する落ち葉を
ほうきではたきながら
紅葉をみる
秋の始まり
そうじが大変
かわいいな

伏見区・伏見板橋小4年

北福智 陽向

わたしはつばめをみた
つばめがひなにえさをやっていた
ひながピーピーピー
鳴いていた
かわいいな
また別の日に同じ道を通った
そしたら前回わたしが見たひなが
大きくなっている気がした
もっともっと
ひなが成長するように
おうえんしたい

作品集 小、中学生の作文・詩(いずれも400字詰め原稿用紙1枚以内) および習字(半紙)で、自分の作品に限り、作品には郵便番号、住所、氏名、電話番号、学校名、学年を書いたメモをノリつけて、〒604-18577 京都新聞社文化部「少年少女わたしの作品」係へ送附してください。作品は返却しません。採用分には図書カードを贈ります。

編集部から

京都新聞ジュニアタイムズへの感想をお待ちしています。「こんな記事が読みたい」というご希望もあれば送ってください。メールアドレスはkouryu-s@mb.kyoto-np.co.jpです。

気	軽	中	国	山	地
自	尊	心	水	平	線
移	動	地	下	林	間
車	両	山	動	間	奏
先	手	物	理	学	
進	出	物	理	学	
国	立	公	園	校	門

ジグソークロス

京大博士 パズル 答え